

# 宮城県業務説明会

## 心理

**Miyagi  
Prefectural  
Government**

# 心理職の仕事

主に児童・障害者の福祉に関する相談・面接・観察等の心理的ケア等（採用試験案内より）

## 配属先

児童相談所、子ども総合センター、リハビリテーション支援センター、精神保健福祉センター、さわらび学園、教育事務所、本庁

# 自己紹介 青森県出身

- H29.3月 宮城県内の大学を卒業
- H31.3月 宮城県内の大学院を卒業
- H31.4月～ 中央児童相談所 判定指導班
- R4.4月～ 東部児童相談所 心理支援班 (R4 判定指導班より改称)
- R7.4月～ 中央児童相談所 心理支援第二班

※すべて児童心理司が所属する班

※児相心理司：児童相談所に勤務する心理職の任用資格のこと

# 志望動機

## なぜ公務員だった？

公務員の心理職は人数が多く、研修体制も整っており、学べることが多いと思ったから。

## なんで宮城県庁を選んだ？

人事異動があるため、様々な分野の業務を経験できると思ったから。実習のときの雰囲気良かったから。

# 担当した仕事

## 児童心理司

養護相談（虐待）、障害相談（療育手帳の判定）、非行相談、育成相談



## 担当業務

児童や保護者との面接・記録作成  
心理検査の実施 など



# 大変だったこと

- 支援が難しい家庭の一時保護が同時期に複数件重なったときは、やるべきことが多く、面接や会議の頻度も増えるためとても大変でした。
- でも、チームで協力して対応しますし、私に負担が偏らないように一緒に働いている方々が配慮してくださったおかげで、一人で大変な思いをすることはありませんでした。

# やりがい、心掛けていること

やりがいは、子どもや家庭の成長・変化を感じられることです。

心掛けていることは、関係者と丁寧にコミュニケーションをとること、納得がいくまで考えることです。

# 1日のスケジュール①

8:30 出勤

10:00 療育手帳の判定

12:00 昼休み

13:00 一時保護児童と  
の面接

14:30 面接記録の  
作成

17:15 退勤

# 1日のスケジュール②

9:30 出勤

10:00 アセスメント会議・  
打合せ

12:00 昼休み

13:00 面接記録の  
作成

16:00 施設訪問  
(児童面接)

17:45 退勤

# 働き方・休み方

- 訪問先が職場より家に近い場合は直接向かったり、施設を訪問した後に直接家に帰れるようにスケジュールを組んだりし、休む時間を確保しています。
- 休みの日は仕事のことは極力考えず、好きなことをしています。



# 入庁前のイメージとギャップ

- ◆ 入庁前のイメージ：大変そう。忙しそう。
- ◆ 入庁後の印象
  - おおむねイメージ通り。
  - ただ、忙しくて話しかけづらいと思っていましたが、皆さん気軽に話を聞いてくれるので相談しやすいです。

# 職場の雰囲気

- 誰かが打合せをしていたり電話をしていたりするので、比較的にぎやかです。
- 雑談も結構しますし、その中で色々な研修の情報や、自分が学んできたものと異なる分野の話聞けるのでおもしろいです。

# 働いて感じる宮城県職員の魅力

- 福祉・医療・教育などの幅広い職場で活躍することができます。
- 研修が充実しており、前職がある方や様々な領域の勉強をしてきた方がいるため、学べることが多いです。

# 私の公務員試験対策

- 大学の公務員試験対策講座を受講していました（教養・専門）。
- 大学院の実習で、中央児童相談所と子ども総合センターに行き、どのような業務を行っているのかを学びました。

# みなさんへのメッセージ

- 大変なことが多い仕事ですが、いつも人には恵まれていると感じますし、サポート体制が整っていると思います。
- 一緒に仕事ができるのを楽しみに待っています！